

令和5年6月11日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 智端子様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の交流会～事業報告書

- 1 実施日：6月7日（金）18：00～20：00 オープンスペース1F
- 2 担 当：株本就子
- 3 参加者：21人（小学生1名、高校生7名、大人13名）
- 4 講 師：草郷孝好さん（関西大学社会学部教員）
- 5 目 的：「地元学」を学び、ウェルビーイングについて考える機会、また参加者との交流を目的とする。
- 6 内 容：
 - ①5/11 でフィールドワークをした学生による発表
 - ②「地元学」についての学びと、水俣の事例からみる地域再生
講師：草郷孝好先生（関西大学社会学部教授）
 - ③交流会
- 7 アンケートおよび感想より抜粋（回答数：21）
 - ・「地元学」という言葉を初めて知った。地元愛を再認識した。
 - ・水俣のことをもっと知りたくなったし、今も通じるテーマがたくさんあると感じた。
 - ・「学び」と「交流」の組み合わせはとてもいいと思う。 など
- 8 振り返り
 - ・水俣の様々な経験から多くの学びがあることを学んだ。地域住民が主体的に地域再生に取り組む姿はどの地域でも共有できることだと思う。
 - ・小学校6年生から80代まで多世代での参加があり、年代を越えての会話ができていた。若者の言葉に刺激を受けたという70代の方からの声もあった。
 - ・今年度は、学びと飲食をコラボした交流会を行うことで、より地域の方々が会話を楽しみ、つながりを持てたように思う。ここから「地元」に興味を持ち、つながり、自分の地域へコミュニティの広がりを見せてくれることを期待する。

以上

